

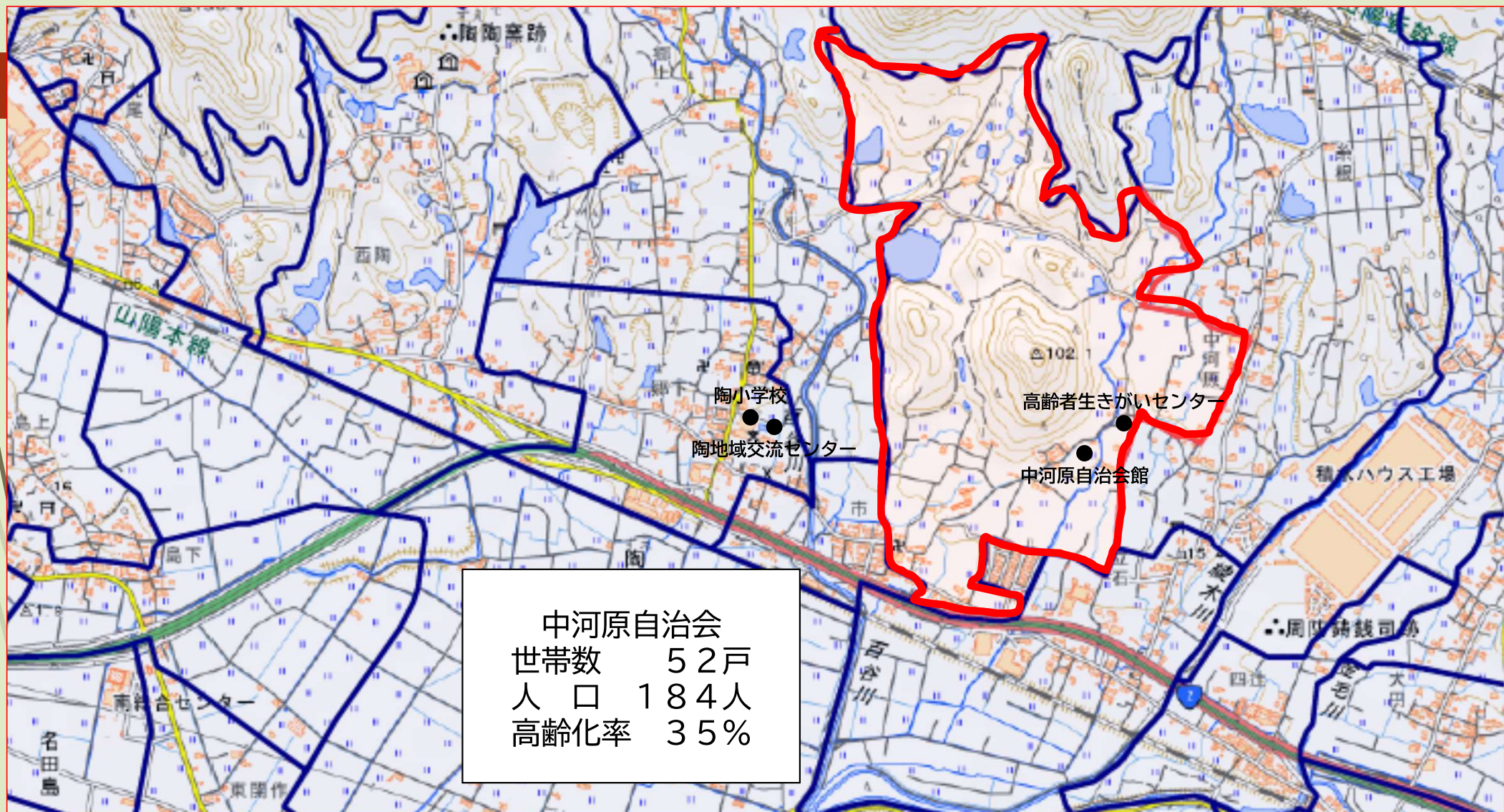
自治会活動紹介

自治会のデジタル化に 向けての取組



<陶地域> 中河原自治会

中河原自治会長 湊上隆昭





* 課題認識

①配布人員と労力の問題（二段階配布と高齢化）

- ・市報等の配布員＝自治会長、班長（月に2回の仕分けと配送業務）
- ・広範囲の配布エリアや道路環境に伴い高齢者班長の負担増

②配布物が自治会長メインの仕事？

- ・自治会長経験者が語る一番大変な業務
- ・雑用係がメインとなり、自治会長の担い手不足

③配布部数の問題（二世帯家族からの要望）

- ・二世帯家族会員から総会資料等、2部配布の要望
- ・全世帯に対して『2部配布』のニーズ検討、対処すべきテーマ



* 課題解消に向けての動き

①グループLINEの稼働

- ・別紙『中河原自治会グループLINE参加』の案内（令和6年4月総会）
- ・『基本運用指針』の策定
- ・「中河原自治会グループLINE」の運用開始（令和6年5月1日配信開始）

②「いちのいち」の検証（令和6年5月～）

- ・協働推進課から「自治会のデジタル化を支援するモデル事業」の説明
- ・仮アカウントで、実際の操作を体験
- ・グループLINEとの比較検証
- ・今後、より機能豊富な「結ネット」についても検証を進める予定



* デジタル化導入の方策

①安全性の明示

- ・ 管理責任者と詳細な運用ルールの設定
- ・ 利用者が納得する内容を構築

②必要性のアピール

- ・ 自治会の「課題」に対して取組である説明
- ・ 班長への恩恵＝業務の負担軽減

③猶予をもった並行期間と対策

- ・ 登録後、すべて電子化するのではない（紙配布を無くすことはない約束）
- ・ ある程度の期間、移行期間終了後の対策も説明準備

④導入支援

- ・ スマホの操作等が難しい方は、自治会の説明会だけでなく個別に支援を実施



*これまでの成果

①グループLINEの登録者数

- ・自治会員数52世帯に対し、現在30名の登録（世帯内の重複含む）
- ・8月1日午後1時に発信したLINEで、午後5時時点で24件の既読がついた。
- ・約半分の世帯に対しては、ネットワークの構築ができた。

②データの保存期間を無期限化

- ・LINEノート機能とGoogleドライブの並行運用により実質無期限化
※今後、Googleドライブ（個人容量）の契約が課題

③利用者の声として

- ・毎回、旦那がLINEが届くのを楽しみにしている。
- ・総会等の紙資料を探さずに見つけやすい。
- ・回覧より早く届き便利に感じる。
- ・PDFにして送信する手間が大変でしょう？



* 今後について（これからの課題）

① 並行運用は必須

- ・ 全面移行ができる状態まで、紙媒体と電子データの並行運用（二度手間）必須
- ・ スローペースで良いから取組を始める。

② 中間地点への配布物設置の検討

- ・ 欲しい配布物は交流センターに出向くのではなく、身近な場所へ設置を検討
（例：自治会館やごみ集積所に『市報置き配ボックス』設置など）

③ デジタル化に向けた市の支援（要望）

- ・ すべての家庭にスマホやタブレットがある状況ではないので、
全世帯に専用タブレットの配布や購入補助などの支援を検討して欲しい。

ご清聴ありがとうございました。

陶のマスコット「すえっきい」



「スッキー」



「ドッキー」